

equal 壁付サーモスタット式シャワー KF900(W)〈各仕様共通〉 施工説明書

施工業者様へ 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。 **KVK**

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
 - ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはならない「禁止」の内容です

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

警告	<p>湯水を逆に配管しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。必ず給水管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。</p>	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>加工及び接合等の改造はしないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>給湯に蒸気を使用しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p>配管などの解氷のため、解氷機を使用する場合は、水栓には絶対に通電しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>寒冷地仕様の場合 水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p>禁止</p> <p>水抜き栓をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>スチームルーム及び乾燥室にご使用の際は相談ください。</p> <p>!</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p>温度調節ハンドルの目盛が、吐水温度と合っているか確認してください。</p> <p>!</p> <p>取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならず、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>ストレーナの清掃は止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。また、操作の際は湯側ソケットが熱くないことを確認してください。</p> <p>!</p> <p>高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

注意	<p>器具に強い力や衝撃を与えないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>めっき部品はぶついたり落としたりしないでください。鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p>禁止</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをします。</p>	<p>本体上面に物を置かないでください。</p> <p>禁止</p> <p>物が落下し、けがをします。また、本体に傷が付いたり、汚れの原因となります。</p>
	<p>めっきシャワーヘッドは、公衆浴場・レジャー施設等、不特定多数の方が頻りに利用する場所では使用しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをします。</p>	<p>めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。</p> <p>!</p> <p>けがをします。また、本体に傷が付いたり、汚れの原因となります。</p>	<p>凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。</p> <p>!</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>めっきの表面が割れて、けがをします。</p> <p>禁止</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをします。</p>	<p>めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。</p> <p>!</p> <p>けがをします。また、本体に傷が付いたり、汚れの原因となります。</p>	<p>凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。</p> <p>!</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

取り付け前に

- ① 使用水圧(A=(給湯器の最低作動水圧)+(配管圧力損失))
 - (1) 瞬間給湯器との組み合わせ(設定条件 水温:25℃ 給湯器温度調節:高温 吐水温度:42℃ ハンドル全開)

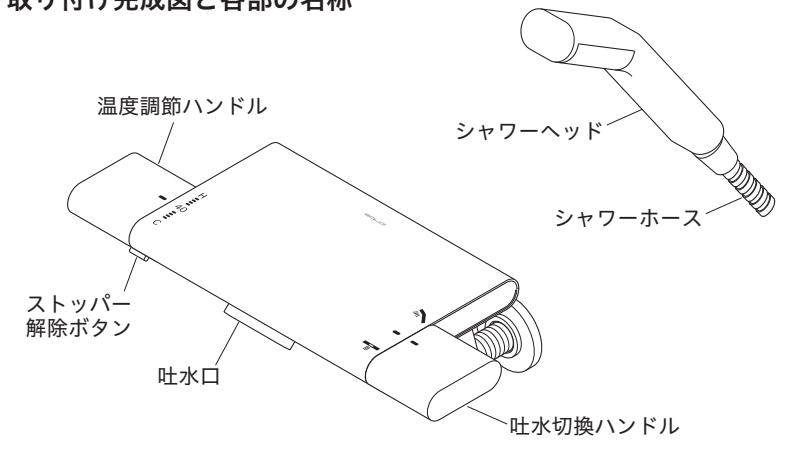
【比例制御式】最低必要水圧:A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧:0.75MPa(静水圧)
 - (2) 貯湯式給湯器との組み合わせ

【給湯・給水圧力】最低必要水圧:A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧:0.75MPa(静水圧)
- ② 吐水切換ハンドルは全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。
- ③ 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯器の給湯温度は、50℃～60℃に設定することをおすすめします。
- ⑦ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 本製品は、改造(加工および接合等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑩ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

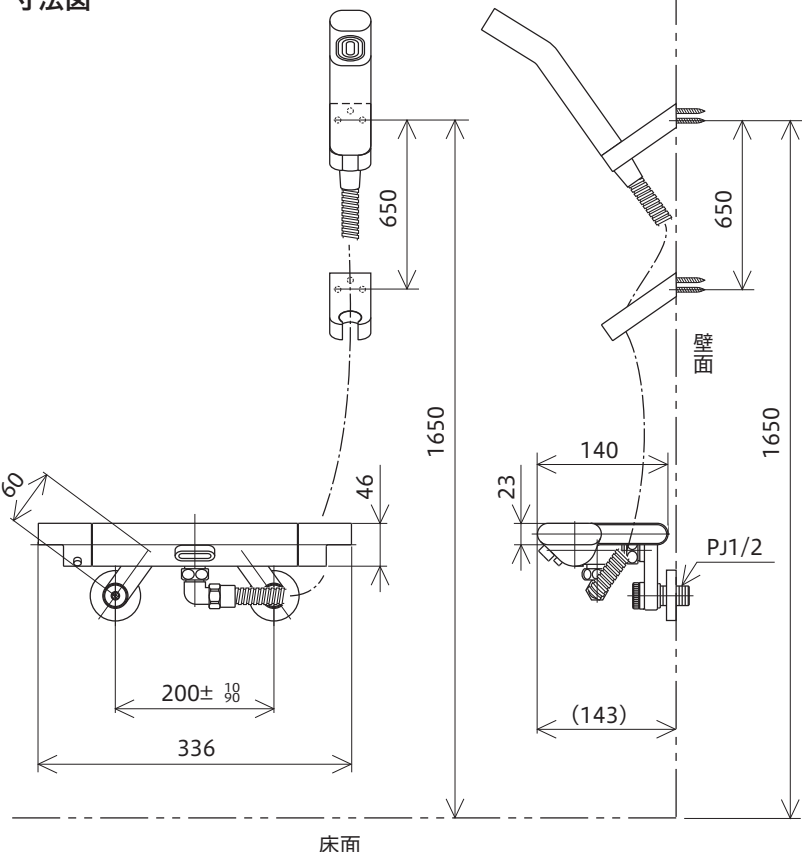
取り付け完成図と各部の名称 / 寸法図 / 分解図

部品の形状は仕様によって異なる場合があります。

取り付け完成図と各部の名称

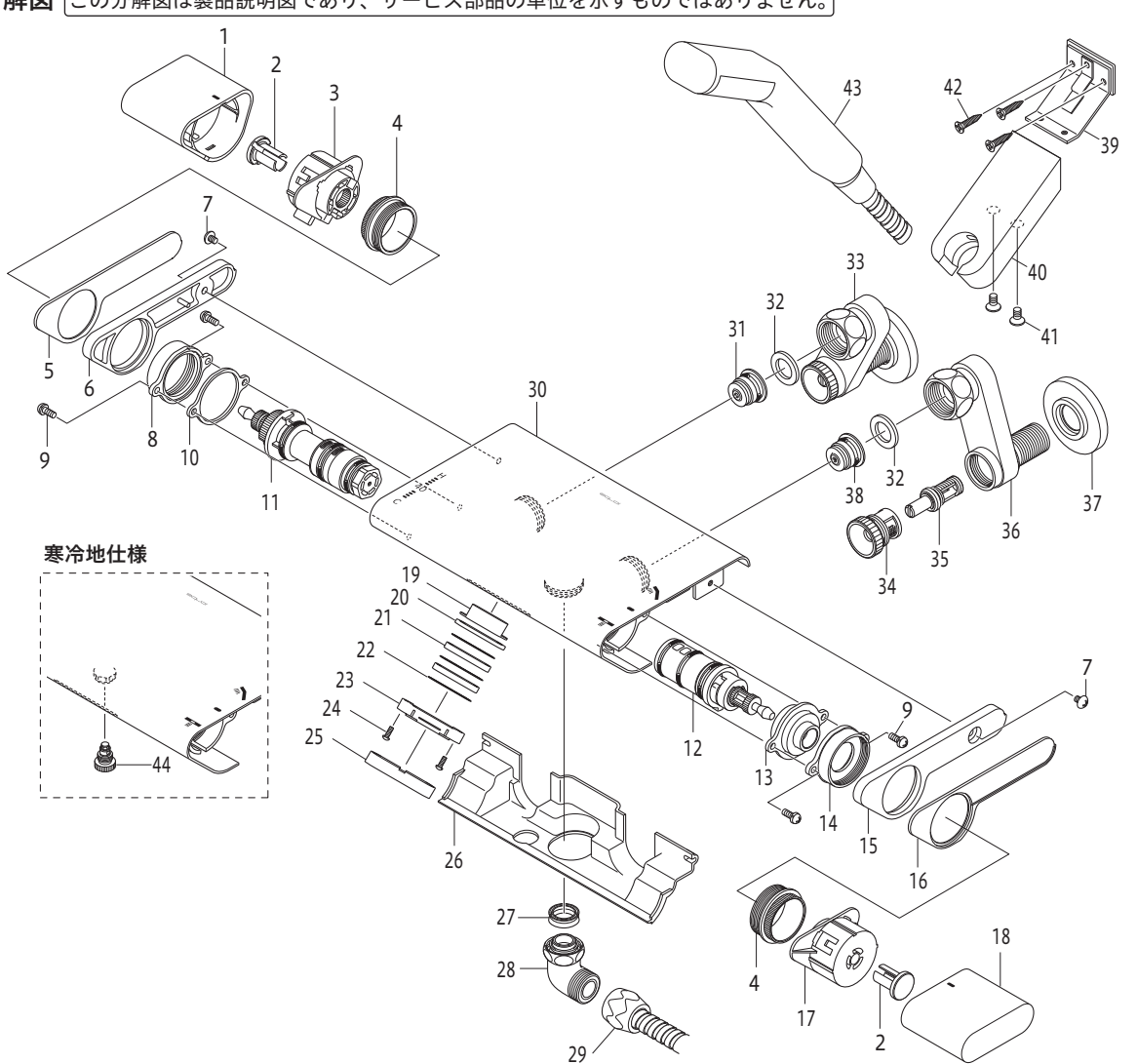


寸法図



分解図

この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。



1 温度調節ハンドル	11 サーモスタットカートリッジ	21 ストレーナ押さえ	31 逆流防止弁(湯側)	41 ねじ
2 キャップ	12 一時止水切換弁	22 ストレーナ	32 パッキン	42 ねじ
3 温調インナー	13 切換固定スペーサー	23 整流器	33 湯側ソケット	43 シャワーヘッド
4 固定ナット	14 切換固定フランジ	24 ねじ	34 ストレーナ	44 水抜き栓
5 温調カラー	15 切換カラーインナー	25 整流器キャップ	35 止水弁	
6 温調カラーインナー	16 切換カラー	26 アンダーカバー	36 水側ソケット	
7 ねじ	17 切換インナー	27 Xパッキン	37 送り座	
8 温調固定フランジ	18 切換ハンドル	28 シャワーエルボ	38 逆流防止弁(水側)	
9 ねじ	19 水切り	29 シャワーホース	39 ハンガーステー(シートパッキン付)	
10 温調固定スペーサー	20 パッキン	30 本体	40 シャワーハンガー	

取り付け手順

1 給水管内の清掃 配管工事後、必ず給湯・給水管内のゴミなどを取り除いてください。

2 ソケットと本体の取り付け
 本製品の特長である、本体上面の平面形状を美しく見せ、確実に施工する為に下記の点ご注意ください。
 ① ソケットのねじ部にシールテープを巻いて、配管に垂直にねじ込みます。
【お願い】・「やけどのおそれあり」シールが貼付してあるソケットを湯側に取り付けてください。
 ・図1のように湯側と水側のパッキン面は、壁面に対して平行になるようにソケットのねじ込み量を合わせてください。(シールテープの巻き数にて調節してください。)
 ・図2のように湯側ソケットと水側ソケットは「ハ」の字にして取り付けてください。
 その際、水平器にて水平度を確認してください。
 ② ソケットと本体を接続します。工具を用いて、下または斜め下から締め付けます。
【注意】締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。
 しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。
 〈図1〉 上から見た図 ① 垂直にねじ込む
 〈図2〉 前から見た図 水平度確認
 ハの字にする
 湯側ソケット 水側ソケット
【お願い】「やけどのおそれあり」シールが貼付してある方を湯側に取り付ける
 ②-1 接続
 パッキン 本体
 ②-2 工具で下から締め付け

3 シャワーホースの接続
 シャワーホースをシャワーエルボに接続します。
【お願い】シャワーホースが邪魔にならないように、シャワーエルボを左または右に向けてください。
 シャワーエルボ シャワーホース 接続

4 シャワーハンガーの取り付け
 ① 壁面に下穴(ピッチ30mm、7mmの3か所)をあけます。床面からの高さは、図1を参照してください。
 ② ハンガーステー(シートパッキン付)を下穴に合わせて。ねじにシリコンシーリングを塗布し、ハンガーステーを固定します。
【お願い】ハンガーステーの向きに注意してください。(図のように、折り込んである方向を壁面に付けてください)
 ③ シャワーハンガーをハンガーステーにはめ込みます。この時、シャワーハンガーはねじ穴のある面を下向きにしてください。
 ④ シャワーハンガー下面より、ねじにてハンガーステーと固定します。
 30mm 7mm ① 下穴をあける
 ねじ (シリコンシーリング塗布) ② 固定
 シートパッキン付 ハンガーステー(向きに注意) シャワーハンガー(ねじ穴を下面に) ③ はめ込む
 ④ 固定
 図1 下穴 650 1650 床面

5 本体保護カバーの取りはずし
 施工後、本体を覆っている本体保護カバーを取りはずします。
【お願い】取りはずす際に、本体に傷や汚れがつかないように注意してください。

6 ステッカーの貼り付け
 使用方法ステッカーを見やすい位置に貼り付けてください。

取り付け後の点検と清掃1

通水確認
【注意】水栓取り付け後、通水して湯水の出し止めを5~6回繰り返し、配管接続部および水栓からの水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ストレーナ・シャワーフェイス清掃のお願い
 ソケットと吐水口のストレーナ、シャワーヘッドのシャワーフェイスにゴミ等が付きまると、吐水量が減ったり、希望する湯温にならない場合があったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。
取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

サーモスタットカートリッジの清掃方法

サーモスタットカートリッジにゴミ、水あか、汚れ等が付着しますと、吐水量が減ったり、温度調節がうまくできなくなったりしますので清掃してください。
【警告】サーモスタットカートリッジの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。サーモスタットカートリッジをいきなりはずすと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 ① 湯水両側の止水弁[2か所]または元栓をしっかりと締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
 ② 温度調節ハンドルをはずし(図1参照)、キャップ、温調インナーをまっすぐに引き抜いてはずします。
 ③ 固定ナット、温調カラー、温調カラーインナー、温調固定フランジ、温調側スベラーをはずします。
 ④ サーモスタットカートリッジを取りはずします。(はずせない場合は、温調インナーとキャップをはめた状態で引き抜いてください。)
 ⑤ サーモスタットカートリッジをブラシで水洗いします。
 清掃後は上記の逆の手順に組み立ててください。
【お願い】取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。

②-3 はずす ③-2 はずす
 温度調節ハンドル キャップ 温調インナー 固定ナット 温調カラー 温調カラーインナー 温調固定フランジ 温調側スベラー
 ②-1 ハンドルを下方向にカチッというまで押さえる
 ④ はずす ⑤ 清掃
 歯ブラシなど
 サーマスタットカートリッジ
 湯側止水弁 ①-1 しめる ①-2 確認
 ①-1 水側止水弁
 1.部品をはずした後、サーモスタットカートリッジに温調インナーとキャップのみを取り付けます。
 2.温調インナーを引き抜きます。
 キャップ サーマスタットカートリッジ 温調インナー
 1. 温調インナー 1. 2.

取り付け後の点検と清掃2

温度調節ハンドルの設定方法

工場出荷時に温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況により目盛り通りの湯温にならない場合があります。温度調節ハンドルの目盛が吐水温度とズれている場合、温度調節ハンドルをはめ直してください。
【はじめに確かめてください】
 ・止水弁を全開にしているか確かめてください。
 ・ストレーナにゴミづまりがないか確かめてください。
 ・給湯温度50℃~60℃の湯が給湯できているか確かめてください。

① 全開吐水で目盛に関係なく40℃のお湯が出る所まで、温度調節ハンドルを回します。
 ② 温度調節ハンドルをはずし(図1参照)、キャップ、温調インナーを回転させないようにまっすぐに引き抜いてはずします。
 ③ 温調インナーのA面と本体のB面が平行になるように温調インナーをはめ込み、キャップにて固定します。
 ④ ハンドルの表示ポイントを「40」の目盛に合わせてはめます。
【お願い】取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。
 ※目盛は、温度表示ではありません。目盛は、温度調節の目安としてください。
 ※温度調節ハンドルの設定以外の目的で、ハンドルをはずさないでください。

温度調節ハンドル ① 40℃
 図1 ②-2引く ③-2 固定 A面 ③-1 平行にはめる B面 ④ 合わせはめる
 ②-1 ハンドルを下方向にカチッというまで押さえる ②-3 はずす ②-4 回さないようにはずす 表示ポイント

流量の調節方法

流量の調節は右記の方法で行ってください。
 湯側止水弁 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺
 あける しめる あける しめる
 水側止水弁

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
湯水が止まらない	吐水切換ハンドルは止水位置に合っていますか	吐水切換ハンドルを止水位置に合わせる	取扱説明書4ページ「吐水切換方法」
	止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴は、シャワーヘッド内の残留水です故障ではありません		—
吐水量が少ない (シャワーが弱い)	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ「流量の調節方法」
	ストレーナ・シャワーフェイスにゴミ等が詰まっていますか	ストレーナ・シャワーフェイスを清掃する	取扱説明書5ページ「ストレーナ・シャワーフェイスの清掃方法」
	ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか ストレーナは凍っていませんか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする ストレーナにぬるま湯をかける	—
高温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ「流量の調節方法」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか 給湯器の給湯温度を50℃~60℃に上げる	止水弁を開ける	7ページ「流量の調節方法」
温度調節がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか 給湯器から十分な湯がきていますか	止水弁で流量を調節する 給湯器の設定温度・作動を確認する	7ページ「流量の調節方法」
	ストレーナ・シャワーフェイスにゴミ等が詰まっていますか	ストレーナ・シャワーフェイスを清掃する	取扱説明書5ページ「ストレーナ・シャワーフェイスの清掃方法」
	温度調節ハンドルの設定は合っていますか	温度調節ハンドルの設定を確認する	7ページ「温度調節ハンドルの設定方法」
吐水が飛び散る	ストレーナ・シャワーフェイスにゴミ等が詰まっていますか	ストレーナ・シャワーフェイスを清掃する	取扱説明書5ページ「ストレーナ・シャワーフェイスの清掃方法」
シャワーの吐水状態が不安定	給湯器の給湯温度を50℃~60℃に設定し、水側止水弁をしぼるにより、改善される場合があります		—

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】
【注意】修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。